防暑とエコを両立 ②

モノづくり企業の競争力強化に貢献

株式会社 鎌倉製作所

気化放熱式涼風装置

クールルーフファン&クールクリーンファン

3つを同時に実現するのは、
気化放熱式涼風装置だけ

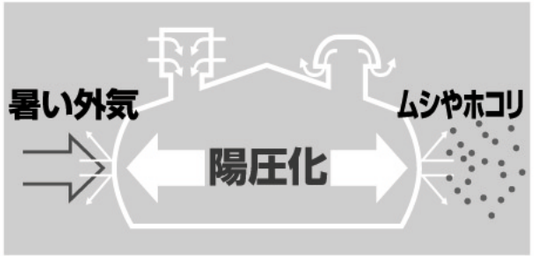
お問い合せ 03(3403)4316 www.kamakura-ss.co.jp

滝のそばに行くとひんやりする―。これは水が気化する時に周囲の熱を奪う気化放熱が原因。鎌倉製作所（東京都港区、堀江威史社長、03・3403・4311）が開発した「クールルーフファン」「クールクリーンファン」に代表されるクールシリーズはこの原理を使った低コストな防暑装置。屋外から大量の涼風を供給することで室内を陽圧に保ち、ホコリなどの浸入を防止できるメリットも武器に一段の普及に全力をあげている。

クールシリーズの涼風効果は外気温と本体の吹き出し温度の差で最大11度C強。気温36・9度C、相対湿度37％の場合で、本体の吹き出し温度は25・8度Cとなる。気温が高い時期は意外と湿度が低いことが知られており、防暑対策が必要な時期は威力を発揮し続けられる。

クールシリーズはさらに、大量の涼風を供給し続けることで建屋内を陽圧に保つ。陽圧化というのは内部の気圧を外部よりも高い状態を維持することで、出入り口はもちろん、建物のわずかなすき間からの虫やホコリの侵入を防ぎ、室内環境をきれいに保つことができる。また、気化放熱を得るため水を膜状に常時流しているエレメントも吸気時にホコリなどを除去する機能も持っている。さらに、クールクリーンファンには食品工場など建屋内空気の一段の清浄さを求める声に対応して、空気浄化フィルターの組み込みなどを開発した。

防暑対策のライバルである空調設備に比べ、クールシリーズは設置コスト・ランニングコストともに4分の1近い費用対効果面でのメリットも大きい。オフィスビルや事務所の防暑対策には空調の方が向くというが、工場・事業所のような大型空間で、特に熱負荷が大きな用途にはクールシリーズは最適。防暑とクリーンな環境保持、コストの三つの強みを武器に、空調設備と棲み分けながら拡販を進める。（PR）



スズシイ ・・・・ キレイ ・・・・ エコノミー

涼風　陽圧化　COP